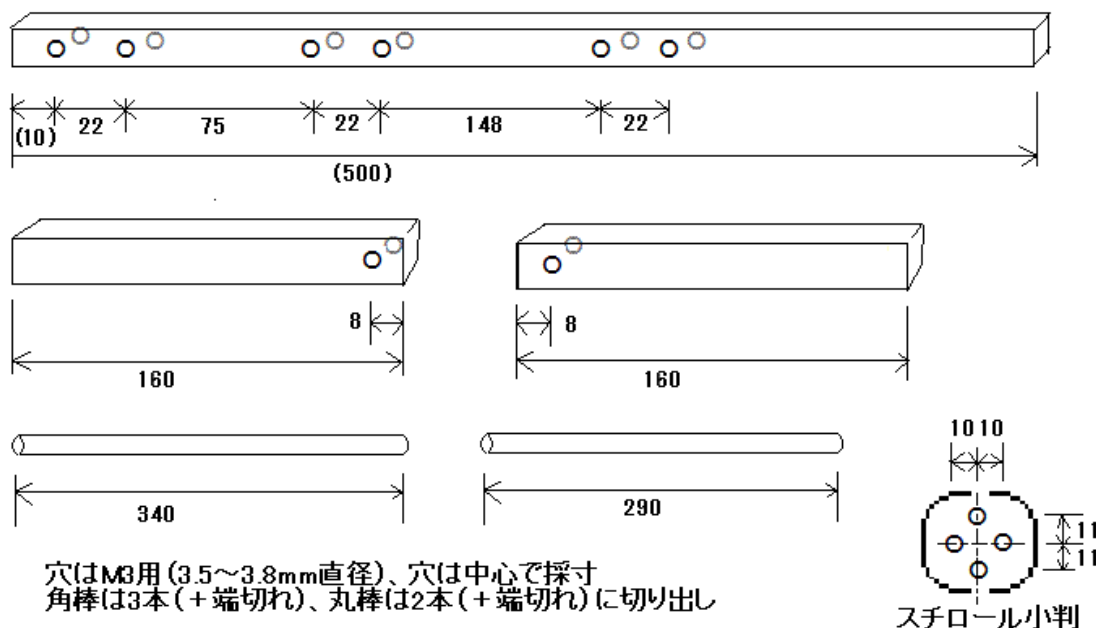


製作方法



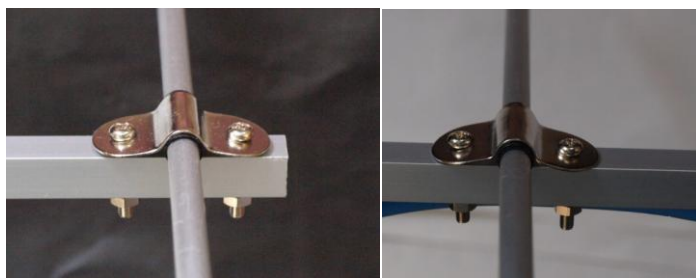
まずは、角棒、丸棒を切り出します。放射器は2本に分かれるので、エレメントは計4本、(角棒2本、丸棒2本)、そしてブームとなる角棒、約50cmのもの1本が必要です。長さはミリのレベルまで合わせてください。金ノコが削り取る分(1mm)も計算に入れて寸法合わせをする必要があります。切ったら紙やすりで端を削っておきます。変な出っ張りがあると、それも長さの一部になってしまいますから、きちんと削り取ってください。

次に穴を開けます。ブームに6か所、角棒エレメントの端に各1か所、小判型スチロール板に4つの穴が必要です。これは、センターポンチ(無ければ先のとがった+ドライバ)で、きちんと場所決めをして開けてください。すべて同じ直径(3.5~3.8mm)です。

同軸ケーブルに丸型圧着端子を取り付けます。なお、端子を付ける前に、丸型のトロイダルコアを2つ同軸ケーブルに通しておいてください。丸型端子は圧着工具で取り付けると簡単で長持ちします。

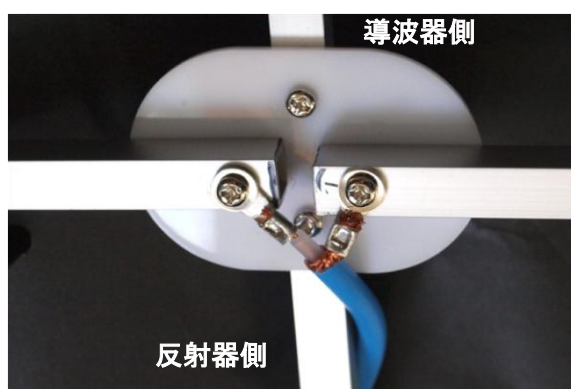
丸棒の真ん中にビニールテープを巻きます。導波器と反射器、つまり丸い棒2本の真ん中に、3巻巻いてください。巻き過ぎると固定しにくくなります。足りないとショートしてしまうことがあります。(注:理論的にはショートしても動作するが、実際は不安定になる)放射器(角棒)には巻きません。

導波器、反射器をブームに組み立てます。



ネジは上から下へ刺し、ナットの処にスプリングワッシャを入れます。開けた穴が変形している等、特段の事情が無い限り、平ワッシャは不要、無い方が緩みません。

放射器を組み立てます



まず、小判型亚克力板を 2 本のネジでブームに留め、次にエレメントを亚克力板上に置いてから、ビス (ネジ) →平ワッシャ→丸型端子 (同軸) →エレメントの角棒→亚克力板→スプリングワッシャ→ナット の順に通します。

ネジ締めはナット側で行うと、エレメントが変に動かなくて済みます。

最後に、給電線を固定します



給電線は、すぐにエレメント下部側に移し、ここでワイヤータイで留めます。

トロイダルコアを固定するように、またすぐにワイヤータイで留めます。

これを反射器の後ろでもう一度、同じ作業をしてください。

二つのトロイダルコアは、10cm~15cm 離して固定します。これで完成です。